

# 茶病害虫防除情報

令和5年2月6日

【第4号】

鹿児島県経済連・肥料農薬課

## 主要病害虫の生態と防除シリーズ (2)

### カンザワハダニ

#### 発生と防除のポイント

古くから全国的な茶の重要害虫で、被害は収量、品質への影響が大きい。最近幾分発生は減少傾向であるが、カブリダニ類など天敵の影響が大きく、発生に関与しているように思われる。春期3~5月、夏期8月頃、秋期10~11月頃に発生するが、春期発生の被害が大きい。夏期は更新茶園等で発生しやすい。春期発生は影響が大きいため越冬後産卵増殖開始期の3月初旬頃に殺卵、殺幼若虫効果が高く残効性の優れた殺ダニ剤で基幹防除する。春期、夏期、秋期などの発生期は全生育ステージに有効な速効性の殺ダニ剤で防除する。

#### 発生生態

害虫の種類	ダニ類・ダニ目・ハダニ科
発生の状況	普遍的に発生 被害大
形態と診断	寄生・加害特徴：葉裏に寄生 園全面に発生 成虫：体長0.3~0.4mm 卵円形 赤褐色 休眠雌は朱色 幼虫：体長0.1~0.2mm 黄白色 脚3対 (若虫 0.3mm 黄白色 脚4対) 卵：球形0.13mm 透明~白色 (成虫は肉眼でも見える)
被害の様子	寄生された葉は淡黄緑色化し、ひどくなると褐変し湾曲・萎縮し落葉しやすい。新芽は伸びが悪く、加害部は黒褐変奇形化し、激しく落葉する。減収および被害葉混入茶は品質が低下する。(特に水色が赤くなる) 経済的被害発生は寄生葉率で10~30%以上である。
生態・生活史	越冬：主に雌成虫 九州では卵・幼虫態でも越冬する。 2月下旬~3月に休眠から醒める 産卵：10℃以上で 2~2.5個/日 総産卵数40~50個 日数20~22日 増殖：有性生殖 無性生殖(雌虫のみ産卵)あり 発育適温15~27℃ 発育所要日数：総日数36~40日 卵期8日 幼虫期3~4日 若虫期5~6日 卵~成虫16~18日
発生消長	春発生：2月下~3月上旬増加開始、一番茶摘採後頃にピーク、5月末頃終息 秋発生：9月中旬頃増加開始し、11月下旬頃まで発生 夏発生：更新園等で8月中・下旬頃秋芽生育期に一時的に発生する

発生条件	<p>降雨が少なく、乾燥した天候が続くと発生しやすい。</p> <p>施肥量(窒素)が多くなると発生が多くなり、被覆条件は発生を助長する。</p> <p>10月下～11月中旬の気温が17.5℃以上で、非休眠雌率が高まり、1月の平均気温が高いと越冬密度が上がり、春期発生が多くなる。</p> <p>合成ピレスロイド剤等天敵への影響が強い薬剤使用で発生増加。(リザーゼンス)</p> <p>霜害を受けた茶園では発生・被害が助長される傾向がある。</p>
天敵	<p>発生に影響大 ケガカブリダニ ハダニアザミマ ハダニタマハエ</p> <p>コブモチカブリダニ フリカブリダニなどカブリダニ類</p>

## 防除方法

- 防除のポイント
- ① 薬剤防除は秋春期増殖開始期(2～3月)の防除を徹底する。
  - ② 多発生してからの防除効果は低下するので、発生初期防除に努める。
  - ③ ケガカブリダニなどの天敵に影響の大きい薬剤の使用は避ける。
  - ④ 葉裏の生息部位や虫体に薬剤がよくかかるように散布する。
  - ⑤ ハダニ防除剤は薬剤抵抗性が発達しやすいのでローテーション使用とする。

### 具体的防除法

#### 越冬後春期増殖開始期の薬剤防除法

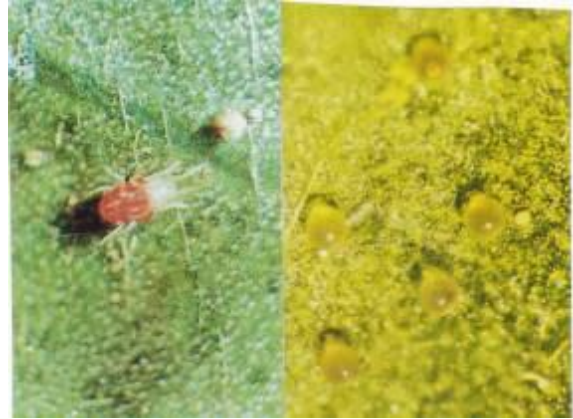
防除時期	防除薬剤	希釈倍数(倍)	使用基準	備考
2月下～3月上旬 (基幹防除)	ダニゲッターフロアブル	2000	7日前1回	ハダニ、サビダニ同時防除可
	ハロックフロアブル	1000～3000	14日前1回	ハダニ専用
	サンクリスタル乳剤	300～600	前日 ー	JAS有機栽培使用可
	マシン油剤	50～150	10～3月萌芽前	〃

#### 春期・夏期・秋期発生期などの薬剤防除法

防除時期	防除薬剤	希釈倍数(倍)	使用基準	備考
・一番茶萌芽直前	ダニサラハフロアブル	1000～2000	7日前2回	ハダニ専用
・一番茶芽生育期 (多発生の場合)	ダニコンクフロアブル	2000～4000	7日前1回	〃
	スターマイトフロアブル	2000	7日前1回	〃
・一番茶摘採後	ミルハロック乳剤	1000	7日前1回	JAS有機栽培使用可
・三番茶後～秋芽 生育期(更新園)	マイトコネフロアブル	1000	14日前1回	使用基準は被覆開始まで
	スターマイトプラスフロアブル	1000	14日前1回	サビダニ類同時防除可
・秋整枝後	アグリメック	1000	7日前1回	スリップス、チャトケ、ハマキ類 ホリカ同時防除可
	ピラニカ EW	1000～2000	21日前1回	秋整枝後使用
	サンクリスタル乳剤	300～600	前日 ー	JAS有機栽培使用可



雌成虫 幼虫 幼若虫



成虫 卵



被害葉



越冬中の休眠雌成虫（朱色）



ダニを攻撃する天敵アブリダニ